

提言第3号 注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析

事例番号：事例3

< 事例概要 >

- ・ 膵臓がん疑いの 50 歳代女性。造影CT 検査室で発症。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、造影剤のイオパミロン。
- ・ 過去に血管造影検査等でイオパミロンを 5 回使用したが、アレルギー症状の出現無。
- ・ イオパミロン注入から 3 分後に呼吸の乱れ、嘔気、足のムズムズ感を訴え、7 分後に意識消失。15 分後にアドレナリン1 mg を静脈内注射し救急処置を実施するが、約 1 時間半後に死亡。